

○ 委員長報告

1 2月定例会本会議で報告された建設委員長報告は、以下のとおりです。

平成30年12月定例会

建設委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、現年公共災害公園復旧費についてであります。

このことについて一部の委員から、今回の補正予算に計上している公園関係の公共土木施設災害復旧費の内容はどうか。また、復旧工事完成の見通しはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、9月29日から30日の台風24号の大雨により、宇和島市津島町の南レク1号公園オートキャンプ場付近の園路で1件の災害が発生したもので、園路の路側の石積が延長35mにわたり谷側へ崩落し、路面にクラックや最大50cmの段差が生じて、通行不能となっている。

復旧工事は、国の災害復旧事業で対応することとしており、1月中旬に災害査定を行った後、キャンプ場の利用者が多くなる来年の夏までには完成予定である旨の答弁がありました。

第2点は、大規模災害時の応援協定についてであります。

このことについて一部の委員から、大規模災害時の応援協定について、7月豪雨災害での取組状況はどうか。また、協定の実効性を高めるため、今後、どう取り組んでいくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、応援協定締結団体等への協力要請に対して、県建設業協会はパトロールや応急対策、県建設技術支援センターは現地調査活動、プレハブ建築協会及び全国木造建設事業協会は応急仮設住宅の建設、県宅地建物取引業協会及び全国賃貸住宅経営者協会連合会は住宅情報の提供、県中小建築業協会は被災住宅の応急修理等において、協力いただいた。

一方で、今回の災害対応で明らかになった課題もあり、より効率的・効果的な協定運用ができるよう、内容の見直しなどに努めたい旨の答弁がありました。

第3点は、JR松山駅付近連続立体交差事業についてであります。

このことについて一部の委員から、本事業の進捗状況と今後の取組みはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本事業の4つの事業区間のうち、線路を複線化する「行き違い線区間」及び待避所を設置する「北伊予駅改良区間」は、計画どおり昨年度までに完成している。

残る2区間のうち、伊予市・松前町に車両基地及び貨物駅を移転する「車両基地・貨物駅区間」では、来年度末の完成供用を目指し基地施設の上屋工事を進めており、「高架区間」でも、本年2月から高架橋工事を進めており、順調に進捗している。

今後は、松山市が実施する土地区画整理事業等と一体的な整備に取り組み、平成36年度の事業完成に向け、全力で取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・災害査定の実施状況
- ・災害復旧工事の発注方針
- ・所有者不明土地問題への対応

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。